

本コラムのタイトルにもなっている鉄道総研の最寄り駅、国立駅からは、南に伸びる大学通りの桜並木をとても綺麗に見ることができます。ちょうど本誌発行の頃には見頃を迎えているかと思いますが、まずは駅の高尾方面ホームから、まるで桜色のじゅうたんがまっすぐに伸びているような様子を上からご覧いただいたあと、国立駅を出て今度は下から、桜のトンネルのような桜並木を、南武線の谷保駅まで2kmほど散策いただくのがおすすめです。

さて、今月号の特集は「鉄道技術の基礎研究」としていくつ

かの研究を紹介いたしました。桜の木に例えれば、基礎研究は土を耕したり苗木を育てたりするような地道な作業かもしれません。しかし、よい花を咲かせるためにはよい土が必要なことは言うまでもありません。自分の手がけた研究が花咲く日をめざして、私たち鉄道総研の研究者は研究に励んでいます。

次号の特集は「鉄道車両を支える台車技術」です。単に鉄道車両の荷重を支えるだけではなく、鉄道車両の走行性能そのものを支えている台車技術の一端を紹介いたします。どうぞご期待ください。(K. N.)